

尾久第六小学校だより

荒川区立尾久第六小学校
校長 紺野 俊彦
令和7年12月号
令和7年12月1日発行

舞台で輝いた子供たちの物語

副校長 深澤 綱文

そろそろ吐く息が白くなってくる頃ですね。

全校で取り組んでいる「おぐろく長縄すごろく」は毎日の練習回数を集計して進める試みです。このお便りが届く頃には、15,000回を超えるかもしれません。苦手な子もいますが、友達の温かい声援に後押しされて頑張っています。

さて、11月15日には、前日の児童鑑賞日に続いて学芸会の保護者鑑賞日がありました。今年度も子供たちが考えたスローガン「スポットライトが希望さし 舞台で輝け 思いを束ねる 物語」のもと、推進委員長の

主任教諭を中心に、子供たちや教職員が一丸となり、舞台で輝く子供たちの姿を披露することができたと思います。

私がいつもすてきだなと思っている本校の伝統があります。それは、児童鑑賞日の感想を、1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生がお手紙に書いて交換し合うのです。今回は1年生と6年生の文章を紹介します。



「おもしろかった。かんどうした。おんがくがはやかったけど、リズムがあつてた。」「わたしがおもしろいとおもったところは、ほうきでやきゅうをしていたところです。せんせいがきたらちゃんとそうじをしていたところがおもしろかったです。」「うごきをつけながらせりふをいうのを、ぼくもやりたいです。」(以上1年生)

「今日は素敵な劇をありがとうございました。一人一人の声が大きく、役になりきっていてとても感動しました。また歌も全員息がそろっていて、とても上手でした。学芸会おつかれ様でした」「小学校に入って八か月なのに長いセリフをしっかり覚えてどうどうと言ったり、動きをつけて役になりきっていてすごいなと思ったよ! 1年生にしか出せないかわいさや元気さがあってよかったよ。すごいじょうずだったよー!」(以上6年生、漢字にはすべて振り仮名付き)

いかがですか?まだ紹介したいところですが、1年生からは6年生へのあこがれの言葉、6年生からは1年生への教師顔負けの評価や励ましがうかがえます。行事を通して学び合う子供たちの姿があります。

最後に、保護者アンケートの中には、指導や準備に運営など、教職員への労いの言葉も多くあり、とても嬉しく励みとなりました。課題や改善点もご指摘いただきましたので、今後の参考にさせていただきます。

【全年年共通】



保護者会について

低学年

日時…12月10日（水）15：00～

高学年

日時…12月12日（金）15：00～

内容 2学期の様子・冬休みの生活について・今後の予定

詳しくは、別紙「保護者会のお知らせ」をご覧ください。

オープンスクールについて

日時…12月6日（土）

備考…子供たちの学校生活の様子をぜひご参観ください。この日は、給食なしの3時間授業で下校になります。ご確認ください。

人権標語について

12月2日（火）から6日（土）の人権週間に合わせて、各学級で人権標語を作成しました。以下の標語は学年代表となった人権標語です。12月の全校朝会でも紹介する予定です。

- ともだちと なかよくしよう ずっとずっと 1年1組
- 考えて していいことと だめなこと 2年2組
- 個性には 正かいなんて ないんだよ 3年1組
- けんかして なかなおりして またえがお 4年1組
- 比べない 勝ち負けじゃない ぼくの価値 5年1組
- 作ろうよ 輝く世界を 光る個性で 6年1組